

世界標準債券ファンド 〈愛称 ニューサミット〉

運用報告書（全体版）

第155期（決算日 2023年2月17日）第157期（決算日 2023年4月17日）第159期（決算日 2023年6月19日）
第156期（決算日 2023年3月17日）第158期（決算日 2023年5月17日）第160期（決算日 2023年7月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「世界標準債券ファンド」は、2023年7月18日に第160期の決算を行ないましたので、第155期から第160期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年3月18日から2030年1月17日までです。
運用方針	主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641251>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落				
	円	円	円	%	%	%	百万円	
131期(2021年2月17日)	3,369	20		1.1	—	98.5	7,658	
132期(2021年3月17日)	3,301	20		△1.4	—	98.4	7,427	
133期(2021年4月19日)	3,320	20		1.2	—	98.6	7,402	
134期(2021年5月17日)	3,372	20		2.2	—	98.6	7,437	
135期(2021年6月17日)	3,379	20		0.8	—	98.3	7,377	
136期(2021年7月19日)	3,317	20		△1.2	—	98.6	7,172	
137期(2021年8月17日)	3,286	20		△0.3	—	98.5	7,057	
138期(2021年9月17日)	3,294	20		0.9	—	98.5	7,015	
139期(2021年10月18日)	3,382	20		3.3	—	98.4	7,097	
140期(2021年11月17日)	3,320	20		△1.2	—	98.3	6,861	
141期(2021年12月17日)	3,268	20		△1.0	—	98.6	6,675	
142期(2022年1月17日)	3,269	20		0.6	—	98.3	6,613	
143期(2022年2月17日)	3,276	20		0.8	—	97.6	6,568	
144期(2022年3月17日)	3,252	20		△0.1	—	98.5	6,484	
145期(2022年4月18日)	3,441	20		6.4	—	98.5	6,702	
146期(2022年5月17日)	3,413	20		△0.2	—	98.4	6,553	
147期(2022年6月17日)	3,391	20		△0.1	—	98.6	6,400	
148期(2022年7月19日)	3,560	20		5.6	—	98.6	6,672	
149期(2022年8月17日)	3,577	20		1.0	—	98.4	6,620	
150期(2022年9月20日)	3,665	20		3.0	—	98.5	6,667	
151期(2022年10月17日)	3,614	20		△0.8	—	98.3	6,512	
152期(2022年11月17日)	3,541	20		△1.5	—	98.3	6,334	
153期(2022年12月19日)	3,454	20		△1.9	—	98.7	6,124	
154期(2023年1月17日)	3,380	20		△1.6	—	98.3	5,970	
155期(2023年2月17日)	3,497	20		4.1	—	98.3	6,147	
156期(2023年3月17日)	3,406	20		△2.0	—	98.4	5,935	
157期(2023年4月17日)	3,542	20		4.6	—	98.3	6,126	
158期(2023年5月17日)	3,663	20		4.0	—	98.3	6,283	
159期(2023年6月19日)	3,812	20		4.6	—	98.4	6,460	
160期(2023年7月18日)	3,768	20		△0.6	—	98.4	6,340	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

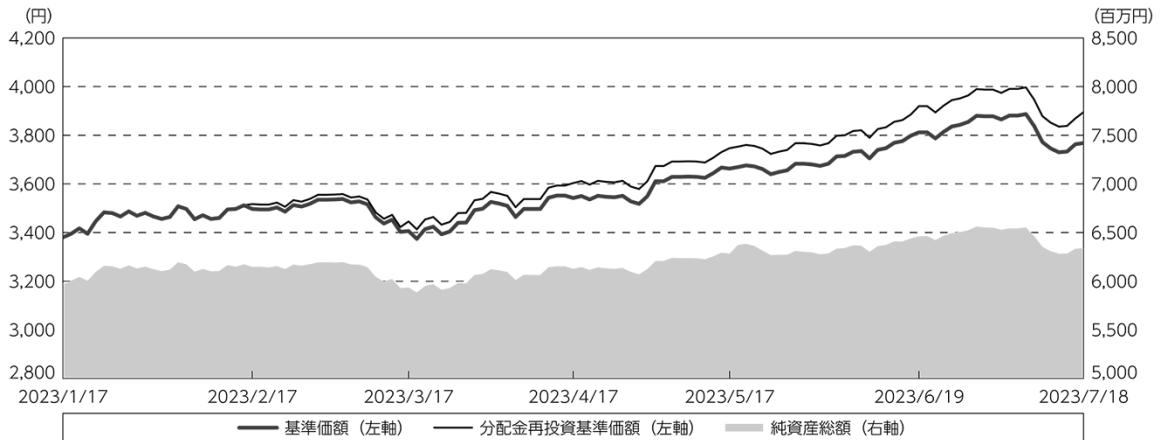
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落	率	
第155期	(期 首) 2023年 1月17日	円 3,380		% —	% 98.3
	1月末	3,481		3.0	98.7
	(期 末) 2023年 2月17日	3,517		4.1	98.3
第156期	(期 首) 2023年 2月17日	3,497		—	98.3
	2月末	3,507		0.3	98.5
	(期 末) 2023年 3月17日	3,426		△2.0	98.4
第157期	(期 首) 2023年 3月17日	3,406		—	98.4
	3月末	3,498		2.7	98.8
	(期 末) 2023年 4月17日	3,562		4.6	98.3
第158期	(期 首) 2023年 4月17日	3,542		—	98.3
	4月末	3,549		0.2	98.1
	(期 末) 2023年 5月17日	3,683		4.0	98.3
第159期	(期 首) 2023年 5月17日	3,663		—	98.3
	5月末	3,680		0.5	98.3
	(期 末) 2023年 6月19日	3,832		4.6	98.4
第160期	(期 首) 2023年 6月19日	3,812		—	98.4
	6月末	3,878		1.7	98.5
	(期 末) 2023年 7月18日	3,788		△0.6	98.4

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年1月18日～2023年7月18日)

作成期間中の基準価額等の推移



第155期首：3,380円

第160期末：3,768円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：15.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年1月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利回りの高い現地通貨建て債券への投資によるインカム収入を得たこと。
- ・メキシコペソ、インドネシアルピア、オーストラリアドルなどの投資対象通貨が対円で上昇したこと。
- ・インドネシアなどの債券利回りが低下(債券価格は上昇)したこと。

<値下がり要因>

- ・オーストラリアなどの債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと。

投資環境

(海外債券市況)

2022年12月に市場のボラティリティ（変動性）が急上昇した後、2023年1月にリスクセンチメントが回復すると、株式および債券市場はともに上昇しました。日銀が10年物金利の許容変動幅をさらに拡大するとの予想が1月中旬の会合に向けてその後織り込まれていたなか、日銀はイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）のすべてのパラメータを維持したため、日本国債市場のボラティリティは短期的に高まりました。為替市場では、リスクセンチメントが良好となったことを受けて、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、カナダドルなどの多くの高ベータ通貨が選好され、アメリカドルは低迷基調となりました。2023年の初め頃に見受けられた良好なリスクセンチメントや債券市場の力強い上昇は、長続きしませんでした。米国で非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったほか、多くの先進国でインフレが市場予想以上に高止まりしていることを受けて、世界の債券利回りが上昇し、リスクセンチメントが悪化するなか、アメリカドルは上昇しました。期間の後半は、米国でシリコンバレーバンクが破綻したことに加えて、欧州でクレディ・スイスが競合のUBS銀行に買収される事態となるなか、債券市場のボラティリティが高まりました。期間末にかけては、債券市場は米国の連邦債務上限を巡る問題からボラティリティが再び高まり、債券利回りは上昇しました。その後は、米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の引き締めを継続するなかでも、労働市場が底堅さを示すなど発表される経済活動データが良好さを示すと、債券利回りは上昇しました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）が0.25%の利上げを実施しました。ラガルドECB総裁は概してタカ派的（インフレ抑制的）な姿勢を維持し、総合インフレ率はここ数ヶ月で明白に鈍化しているものの、インフレを目標レンジ内に戻すためにはさらなる措置が必要であると示唆しました。

新興国は、先進国の中央銀行の大規模な動きに先んじて断固とした金融政策の引き締めを実施することにより、高い信頼性を示してきました。いくつかの国は、高い名目金利と堅固なプラスの実質金利の両方を提供しています。これにより資金流入が拡大し、国際収支の資金となりました。その結果、メキシコペソなど一部の新興国通貨は大幅なリターンを見せ、期間中に対円で大幅に上昇しました。こうした中央銀行の措置が安定性を促して、投資家心理が向上し、新興国経済の力強さを下支えしました。

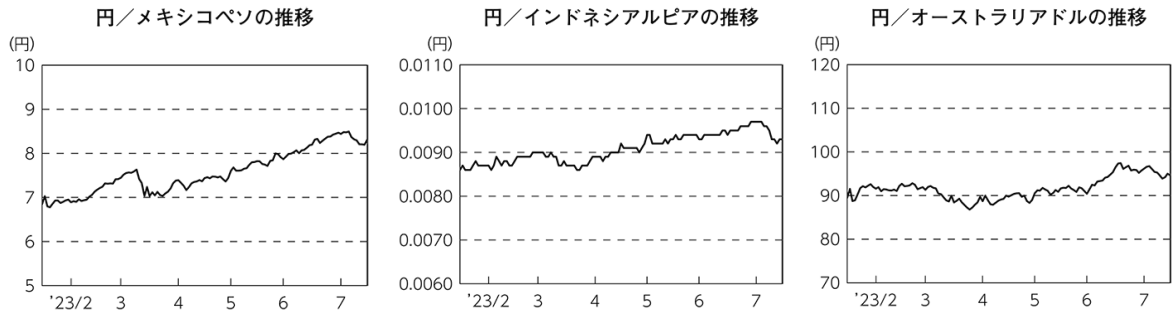
(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.01% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.05% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.19% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.15% 近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

期間中、当ファンドではメキシコペソの投資比率を高位に保ち、ポートフォリオで最大の投資比率となりました。メキシコは、高利回り、財政の規律、魅力的な通貨のバリュエーション(価値評価)、安定的な国際収支が相まって優位な状況にあります。また、メキシコは米国のサプライチェーン(供給網)にとって重要な製造ハブであることから、米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)において独自の立場にあり、メキシコペソは他の新興国通貨に対して際立っています。米国のバイデン政権のもとで積極的な財政出動が実施されるなか、国内への多くの送金や自動車を中心とした消費者の堅調な輸入需要が見受けられます。さらに、インフレが広がりを見せているなかでも、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的な大流行)を受けた繰り延べ需要に加えて家計貯蓄が依然として潤沢な状況にあるなか、米国人の海外旅行が大きく回復しており、メキシコは多くの人々にとって便利な旅行先になっています。

インドネシアルピアについては、特にインフレに対して魅力的な利回り水準を引き続き提供していることから、ポジティブな見方を維持しています。また、インドネシアは中国の最近の新型コロナウイルスへの政策変更による同国のコモディティ需要の高まりから十分な恩恵を受けられる立場にあり、加えて、構造的な改革に引き続き着手して参入障壁を引き下げ、労働の柔軟性を向上させていることから、これらが構造的に同国への対内直接投資を惹きつけています。

先進国市場では、オーストラリアドルに対してポジティブな見方を維持しています。オーストラリア準備銀行(RBA)は、金融政策の引き締めを実施し、債券市場は投資家に良好な利回りを提供しています。中国当局は経済成長を促進するべく景気刺激策を引き続き拡大していますが、オーストラリアは地理的に近い中国から引き続き恩恵を受けています。オーストラリアでは、観光客や留学生が増加しており、国内経済が下支えされています。コモディティやサービスの輸出が好調に推移するなか国際収支は改善しており、経常収支は今後数年にわたって安定的な黒字を維持すると予想されます。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日	2023年5月18日～ 2023年6月19日	2023年6月20日～ 2023年7月18日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.569%	0.584%	0.561%	0.543%	0.522%	0.528%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	370	374	381	387	394	398

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

現在の戦略は、外的要因に大きく左右されることのない強固なストーリーに注目しています。中期的には、先進国の金融政策が過去に比べて緩和的に維持される見込みであること、また新興国が先進国の成長を上回るなか、新興国と先進国の間で成長の乖離が再び拡大するとみられることから、新興国市場に対して非常に強気な見方を維持しています。

当ファンドでは、インフレ率に対して金利が高く実質的なインカムの創出が高水準である市場、通貨のバリュエーションが魅力的な水準にあり長期的に上昇が見込まれる市場、構造改革に下支えされた長期的な成

長ポテンシャルがある市場、制度的な信頼が強固である市場に着目し、引き続き積極的に新規投資機会を追求していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年1月18日～2023年7月18日)

項 目	第155期～第160期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	21	0.570	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(7)	(0.197)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.357)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.015	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(0)	(0.013)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	22	0.585	
作成期間の平均基準価額は、3,598円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

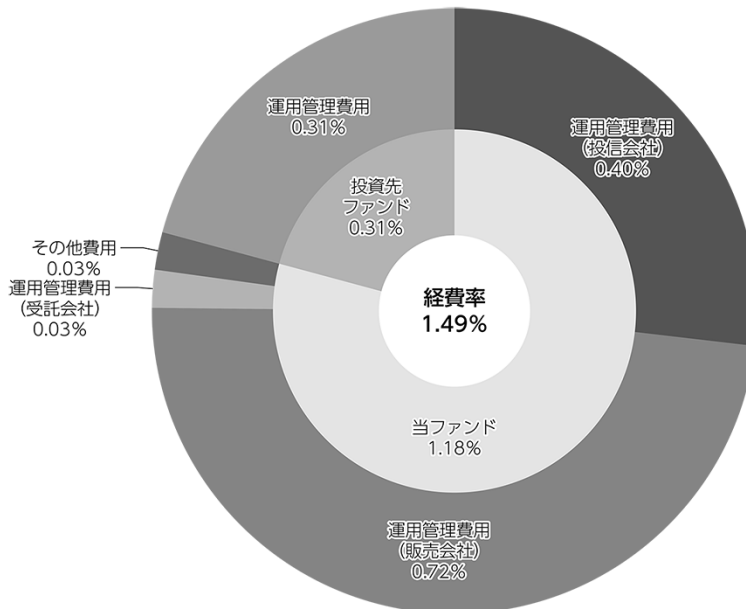
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.49%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.49
①当ファンドの費用の比率	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。
- (注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月18日～2023年7月18日)

投資信託証券

銘 柄		第155期～第160期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	千口 240,330	千円 94,421	千口 909,281	千円 357,817

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第155期～第160期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 290	千円 290	千口 112	千円 112

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月18日～2023年7月18日)

利害関係人との取引状況

<世界標準債券ファンド>

区 分	第155期～第160期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
投資信託証券	百万円 94	百万円 94	100.0	百万円 357	百万円 357	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年1月18日～2023年7月18日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年1月18日～2023年7月18日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2023年7月18日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第154期末	第160期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA		15,956,696	15,287,746	6,238,929	98.4
合	計	15,956,696	15,287,746	6,238,929	98.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第154期末	第160期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		6,044	6,222	6,234

(注) 親投資信託の2023年7月18日現在の受益権総口数は、462,508千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年7月18日現在)

項 目	第160期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,238,929	97.7
マネー・アカウント・マザーファンド	6,234	0.1
コール・ローン等、その他	142,918	2.2
投資信託財産総額	6,388,081	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末
	2023年2月17日現在	2023年3月17日現在	2023年4月17日現在	2023年5月17日現在	2023年6月19日現在	2023年7月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,211,387,400	5,983,049,100	6,184,632,045	6,332,654,885	6,524,487,525	6,388,081,708
コール・ローン等	160,059,427	138,189,718	129,283,967	129,880,307	160,121,584	142,917,955
投資信託受益証券(評価額)	6,045,271,091	5,838,802,500	6,023,154,487	6,177,328,396	6,358,131,449	6,238,929,261
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	6,056,882	6,056,882	6,056,882	6,056,882	6,234,492	6,234,492
未収入金	—	—	26,136,709	19,389,300	—	—
(B) 負債	63,706,688	48,045,007	57,767,658	49,485,837	63,609,217	47,565,087
未払収益分配金	35,158,331	34,850,552	34,591,209	34,303,311	33,900,879	33,652,077
未払解約金	22,452,604	7,527,334	16,903,496	8,822,546	22,451,587	7,208,883
未払信託報酬	5,936,500	5,386,205	5,855,668	5,809,302	6,552,486	5,867,726
未払利息	19	28	34	112	271	205
その他未払費用	159,234	280,888	417,251	550,566	703,994	836,196
(C) 純資産総額(A-B)	6,147,680,712	5,935,004,093	6,126,864,387	6,283,169,048	6,460,878,308	6,340,516,621
元本	17,579,165,705	17,425,276,259	17,295,604,725	17,151,655,782	16,950,439,922	16,826,038,659
次期繰越損益金	△11,431,484,993	△11,490,272,166	△11,168,740,338	△10,868,486,734	△10,489,561,614	△10,485,522,038
(D) 受益権総口数	17,579,165,705口	17,425,276,259口	17,295,604,725口	17,151,655,782口	16,950,439,922口	16,826,038,659口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,497円	3,406円	3,542円	3,663円	3,812円	3,768円

(注) 当ファンドの第155期首元本額は17,667,372,617円、第155～160期中追加設定元本額は456,725,056円、第155～160期中一部解約元本額は1,298,059,014円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第155期0.3497円、第156期0.3406円、第157期0.3542円、第158期0.3663円、第159期0.3812円、第160期0.3768円です。

(注) 2023年7月18日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は10,485,522,038円です。

○損益の状況

項 目	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日	2023年5月18日～ 2023年6月19日	2023年6月20日～ 2023年7月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	47,716,572	47,313,396	47,143,661	46,760,987	46,121,279	45,845,281
受取配当金	47,717,821	47,314,305	47,144,125	46,764,109	46,126,980	45,849,058
受取利息	11	7	26	-	-	-
支払利息	△ 1,260	△ 916	△ 490	△ 3,122	△ 5,701	△ 3,777
(B) 有価証券売買損益	199,994,904	△ 165,852,598	229,436,078	200,711,767	245,680,146	△ 79,092,909
売買益	201,127,675	435,649	230,367,109	201,222,808	247,162,639	1,019,702
売買損	△ 1,132,771	△ 166,288,247	△ 931,031	△ 511,041	△ 1,482,493	△ 80,112,611
(C) 信託報酬等	△ 6,095,734	△ 5,530,680	△ 6,012,737	△ 5,965,150	△ 6,728,246	△ 6,025,118
(D) 当期損益金(A+B+C)	241,615,742	△ 124,069,882	270,567,002	241,507,604	285,073,179	△ 39,272,746
(E) 前期繰越損益金	△ 5,919,581,350	△ 5,651,537,449	△ 5,759,835,080	△ 5,466,278,941	△ 5,115,724,794	△ 4,813,681,271
(F) 追加信託差損益金	△ 5,718,361,054	△ 5,679,814,283	△ 5,644,881,051	△ 5,609,412,086	△ 5,625,009,120	△ 5,598,915,944
(配当等相当額)	(457,695,348)	(454,082,037)	(450,956,063)	(447,645,842)	(445,802,837)	(443,226,617)
(売買損益相当額)	(△ 6,176,056,402)	(△ 6,133,896,320)	(△ 6,095,837,114)	(△ 6,057,057,928)	(△ 6,070,811,957)	(△ 6,042,142,561)
(G) 計(D+E+F)	△ 11,396,326,662	△ 11,455,421,614	△ 11,134,149,129	△ 10,834,183,423	△ 10,455,660,735	△ 10,451,869,961
(H) 収益分配金	△ 35,158,331	△ 34,850,552	△ 34,591,209	△ 34,303,311	△ 33,900,879	△ 33,652,077
次期繰越損益金(G+H)	△ 11,431,484,993	△ 11,490,272,166	△ 11,168,740,338	△ 10,868,486,734	△ 10,489,561,614	△ 10,485,522,038
追加信託差損益金	△ 5,718,361,054	△ 5,679,814,283	△ 5,644,881,051	△ 5,609,412,086	△ 5,625,009,120	△ 5,598,915,944
(配当等相当額)	(457,695,348)	(454,082,037)	(450,956,063)	(447,645,842)	(445,802,837)	(443,226,617)
(売買損益相当額)	(△ 6,176,056,402)	(△ 6,133,896,320)	(△ 6,095,837,114)	(△ 6,057,057,928)	(△ 6,070,811,957)	(△ 6,042,142,561)
分配準備積立金	193,917,966	198,759,678	208,555,268	217,711,363	222,933,447	226,769,974
繰越損益金	△ 5,907,041,905	△ 6,009,217,561	△ 5,732,414,555	△ 5,476,786,011	△ 5,087,485,941	△ 5,113,376,068

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年1月18日～2023年7月18日)は以下の通りです。

項 目	2023年1月18日～ 2023年2月17日	2023年2月18日～ 2023年3月17日	2023年3月18日～ 2023年4月17日	2023年4月18日～ 2023年5月17日	2023年5月18日～ 2023年6月19日	2023年6月20日～ 2023年7月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	46,542,454円	41,782,666円	46,118,463円	45,633,372円	45,057,256円	39,819,937円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	457,695,348円	454,082,037円	450,956,063円	447,645,842円	445,802,837円	443,226,617円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	182,533,843円	191,827,564円	197,028,014円	206,381,302円	211,777,070円	220,602,114円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	686,771,645円	687,692,267円	694,102,540円	699,660,516円	702,637,163円	703,648,668円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	390円	394円	401円	407円	414円	418円
g. 分配金	35,158,331円	34,850,552円	34,591,209円	34,303,311円	33,900,879円	33,652,077円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第155期	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○お知らせ

約款変更について

2023年1月18日から2023年7月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA
	ルクセンブルグ籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	ソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると見られる国や地域の通貨建てのソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。 ・ 通貨選定にあたっては、金利水準を重視し、経済情勢、政治の安定性、市場の流動性なども考慮します。 ・ 原則として、買付時においてBBB(Baa)格相当以上の格付が付与されているソブリン債券に投資します。ただし、債務履行能力が高いと運用会社が判断した場合は、BB(Ba)格相当以下の国や地域のソブリン債券に投資する場合があります。 ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式への投資は行ないません。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.31%以内(国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資明細表

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2023年2月28日現在

数量/ 額面	銘柄	通貨	(単位：日本円) 市場価格	純資産に占める 割合 (%)
公式な証券取引所に上場している譲渡可能証券 債券およびその他の債務証券				
オーストラリア				
5,000,000.00	AUSTRALIAN GOVT. 1.75% 20-21/06/2051	AUD	275,956,485	4.3
8,750,000.00	AUSTRALIAN GOVT. 1% 20-21/11/2031	AUD	635,742,868	10.1
			911,699,353	14.4
インドネシア				
40,000,000,000.00	INDONESIA GOVT 7.375% 17-15/05/2048	IDR	366,324,532	5.8
67,000,000,000.00	INDONESIA GOVT 7.5% 17-15/05/2038	IDR	622,169,419	9.8
37,500,000,000.00	INDONESIA GOVT 8.25% 15-15/05/2036	IDR	370,255,786	5.8
			1,358,749,737	21.4
メキシコ				
50,700,000.00	MEXICAN BONOS 10%06-20/11/2036	MXN	399,057,900	6.3
128,000,000.00	MEXICAN BONOS 7.75% 11-29/05/2031	MXN	870,263,692	13.7
24,000,000.00	MEXICAN BONOS 8.5% 09-18/11/2038	MXN	166,485,528	2.6
35,000,000.00	MEXICAN BONOS 8.5% 09-31/05/2029	MXN	248,655,519	3.9
			1,684,462,639	26.5
フィリピン				
15,000,000.00	ASIAN DEV BANK 0.5% 13-11/07/2023	MXN	106,800,800	1.7
			106,800,800	1.7
韓国				
15,000,000,000.00	EXP-IMP BK KOREA 8% 19-15/05/2024	IDR	135,509,350	2.1
			135,509,350	2.1
国際機関				
1,452,000.00	EUROPEAN INVT BK 3.3% 17-03/02/2028	AUD	126,832,009	2.0
4,000,000.00	INT BK RECON&DEV 0% 11-16/11/2026	AUD	311,461,407	4.9
			438,293,416	6.9
英国				
22,000,000,000.00	EURO BK RECON&DV 5.2% 21-28/05/2024	IDR	193,893,328	3.0
10,500,000,000.00	EURO BK RECON&DV 5.6% 18-30/01/2025	IDR	92,258,635	1.5
			286,151,963	4.5
米国				
8,300,000.00	INT BK RECON&DEV 0.5% 12-13/08/2032	MXN	26,194,409	0.4
23,300,000.00	INT BK RECON&DEV 0% 18-25/05/2033	MXN	63,820,887	1.0
8,610,000.00	INTERAMER DEV BK 5.64% 19-25/05/2023	MXN	62,986,236	1.0
45,641,000.00	INTERAMER DEV BK 7.5% 07-05/12/2024	MXN	316,647,627	5.0
20,400,000,000.00	INTL FIN CORP 8% 18-09/10/2023	IDR	184,074,058	2.9
			653,723,217	10.3
			5,575,390,475	87.8
有価証券ポートフォリオ合計			5,575,390,475	87.8
純資産の要約				
			純資産に 占める割合 (%)	
有価証券ポートフォリオ合計			5,575,390,475	87.8
銀行預金			693,328,862	10.9
その他の資産および負債			79,508,160	1.3
純資産合計			6,348,227,497	100.0

ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
政府	73.4	64.4
国際機関	26.6	23.4
	100.0	87.8

国別配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
メキシコ	30.2	26.5
インドネシア	24.4	21.4
オーストラリア	16.4	14.4
米国	11.7	10.3
国際機関	7.9	6.9
英国	5.1	4.5
韓国	2.4	2.1
フィリピン	1.9	1.7
	100.0	87.8

◆損益計算書および純資産変動計算書

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2023年2月28日に
終了した会計年度
(単位：日本円)

収益		
債券利息	JPY	393,559,527
銀行預金利息		4,860,497
その他の収益		91,155
収益合計		398,511,179
費用		
運用報酬		17,313,919
預託報酬		1,709,694
管理報酬		2,457,705
専門家報酬		2,599,430
年次税		657,882
銀行借入利息		1,308,355
名義書換代理人報酬		2,174,031
印刷費用		27,576
その他費用		1,544,398
費用合計		29,792,990
投資純利益（損失）		368,718,189
実現純（損）益内訳：		
投資		396,339,892
外貨換算		(7,263,709)
当期実現純利益（損失）		757,794,372
評価（損）益の純変動額内訳：		
投資		323,141,242
運用による純資産の純増加（減少）額		1,080,935,614
受益証券の申込に係る受取代金		49,257,052
受益証券の買戻に係る支払純額		(881,800,910)
収益分配金		(627,130,524)
期首純資産		6,726,966,265
期末純資産		6,348,227,497

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2022年10月12日）
（2021年10月13日～2022年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
9期(2018年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0	—	560

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落 率	率
(期 首) 2021年10月12日	円		%
	10,023		—
10月末	10,023		0.0
11月末	10,023		0.0
12月末	10,023		0.0
2022年1月末	10,023		0.0
2月末	10,023		0.0
3月末	10,023		0.0
4月末	10,023		0.0
5月末	10,023		0.0
6月末	10,022		△0.0
7月末	10,022		△0.0
8月末	10,022		△0.0
9月末	10,022		△0.0
(期 末) 2022年10月12日	10,022		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年10月13日～2022年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,023円の基準価額は、期間末に10,022円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.11%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.16%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

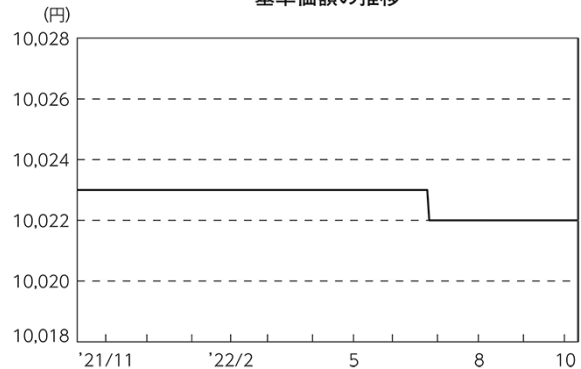
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2021/10/12	2021/10/13	2022/06/27	2022/10/12
10,023円	10,023円	10,022円	10,022円

○ 1万口当たりの費用明細

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年10月13日～2022年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○ 組入資産の明細

(2022年10月12日現在)

2022年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○ 投資信託財産の構成

(2022年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 561,034	% 100.0
投資信託財産総額	561,034	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				561,034,411
	コール・ローン等			561,034,411
(B) 負債				403,742
	未払解約金			403,445
	未払利息			297
(C) 純資産総額(A-B)				560,630,669
	元本			559,411,728
	次期繰越損益金			1,218,941
(D) 受益権総口数				559,411,728口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,022円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,123,207,498円、期中追加設定元本額は39,043,309円、期中一部解約元本額は602,839,079円です。

(注) 2022年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	329,794,812円	・エマージング・プラス・円戦略コース	784,570円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	94,654,066円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	531,007円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	18,512,403円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	523,559円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	15,273,943円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	376,786円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	11,470,095円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	305,120円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	9,945,260円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	300,797円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	9,503,745円	・グローバル株式トップフォーカス	298,485円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	7,465,062円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	233,387円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	7,032,101円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	221,561円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	6,997,802円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	140,987円
・世界標準債券ファンド	6,483,635円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,279,477円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	50,629円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	4,614,417円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	22,285円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	3,338,518円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,163,709円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	3,145,270円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	3,086,959円	・DC世界株式・厳選投資ファンド	10,683円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,616,462円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	2,536,890円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・グリーン世銀債ファンド	1,624,339円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	1,579,920円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,393,009円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,350,193円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,248,385円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,245,765円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,015,998円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0022円です。

○損益の状況

(2021年10月13日～2022年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		円
	受取利息	△	117,744
	支払利息		349
(B)	当期損益金(A)	△	118,093
(C)	前期繰越損益金		△ 117,744
(D)	追加信託差損益金		2,632,057
(E)	解約差損益金		88,766
(F)	計(B+C+D+E)	△	1,384,138
	次期繰越損益金(F)		1,218,941
			1,218,941

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年10月13日から2022年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。